

前期計画に係る平成 21 年度進捗状況について

基本目標1 輝き

子どもたちがたくましく育つことのできる環境づくり

達成度 3.2

* 達成度基準 1=0~19% 2=20~49% 3=50~79% 4=80~99% 5=100%

【概要】

基本施策の1から3については、学校や市民センター（公民館）等で実施が予定されていた事業が多く、平成21年度は新型インフルエンザの影響から中止や縮小となったことから、総じて達成度が低い結果となりました。

しかしそのような中でも、「こどもエコクラブ」の登録人数が目標の2,000人を越え、2,302人の登録となりました。

学校の施設環境については、校内LANの整備が、国の予算組替えにより平成22年度の整備となりましたことから、基本施策10の情報教育の推進とともに達成度が低い結果となりました。しかしながら、耐震化の推進については、校舎の耐震化工事や耐震診断を順次実施しました。

援助を要する子どもへの支援については、学校における相談機会の充実として、学校巡回指導員の体制強化や関係機関の連携強化、やまびこ教育相談室の活用拡大に向けた広報に努め、結果としてケース会議や連携会議の実施回数が増加しました。

また、児童虐待の防止に向けた取組としては、家庭児童相談室の相談員を増員し、増加する相談件数に対応するための体制強化を図ることができました。

次代の親を育てる教育については、小学校・中学校の保健分野の指導を通して自他を大切に思う心情や態度の育成に努めるとともに、特に性教育に関して、研修会への参加や保護者参観の授業実践を通じて系統的な学習と指導の充実を図りました。

基本施策1 多様な体験機会の充実

前期達成度 2.8

1. 地域の暮らしに学ぶ体験機会の充実
2. 歴史、伝統に学ぶ体験機会の充実
3. 自然・環境に学ぶ体験機会の充実
4. 産業・仕事に学ぶ体験機会の充実
5. 文化・芸術に学ぶ体験機会の充実
6. 子どもたちの体験を応援するネットワークの充実

基本施策2 子どもたちの視野を広げる交流の推進

前期達成度 3.5

1. 友好都市との交流の推進
2. 市内在住外国人との交流
3. 世代間交流の促進
4. 大学や博物館などと連携した学習や体験機会の提供

基本施策3 地域への愛着を育てる環境づくり

前期達成度 3.0

1. 体験を通じた居場所づくり
2. 親子が気軽に集まれる場の提供（再）
3. スポーツを通じた居場所づくり

基本施策4 就学前教育の充実

前期達成度 2.5

1. 教育内容の充実
2. 教育環境の充実
3. 子育て支援への対応

基本施策5 学校教育の充実

前期達成度 2.8

1. 教育内容の充実
2. 教育環境の充実

基本施策6 援助を要する子どもへの支援

前期達成度 3.0

1. 障害、発達に遅れのある子どもたちへの支援
2. 不登校、引きこもりなど問題を抱える子どもたちへの支援
3. 援助を要する子どもたちへの理解の浸透

基本施策7 児童虐待の防止

前期達成度 3.5

1. 予防、早期発見への取組
2. 関係機関の連携による虐待の早期発見と迅速な対応

基本施策8 次代の親を育てる教育の推進

前期達成度 3.7

1. 子育ての喜びや意味を学ぶ学習の推進

基本施策9 青少年健全育成

前期達成度 3.5

1. 青少年の健全な育ちへの支援
2. 非行等の課題をかかえる青少年への立ち直り支援
3. 青少年の主体的な活動支援

基本施策10 情報教育の推進

前期達成度 3.5

1. インターネットを活用した情報教育の推進
2. ルールを学ぶ取組の推進

基本目標2 健康

心身ともに健やかな育ちを支援するしくみづくり

達成度 3.7

* 達成度基準 1=0~19% 2=20~49% 3=50~79% 4=80~99% 5=100%

【概要】

妊娠出産への支援については、両親学級（子育て体験教室）を開催し、定員に近い参加者数となりました。参加者からは、「同じ悩みを共有できた。」「不安や疑問が解消された。」「出産に向けての流れが分かってよかった。」などの声が寄せられました。

ハイリスク妊産婦については、妊娠中から円滑に妊娠期や産後が過ごせるよう指導助言を行うとともに、医療機関から連絡のあった家庭について訪問指導を行いました。

健康生活支援として実施している健康相談については、利用者が昨年度と比較して大きく増加しました。また、相談をきっかけとして、身近な地域の仲間づくりの場になっています。

食育については、学校・幼稚園・保育所がそれぞれ計画を策定し、野菜や米の栽培体験等を通して推進活動を実践しました。

子どもの心と体のケアについては、各学校の教育相談推進計画に基づき、教育相談主任・特別支援コーディネーターを中心に児童生徒との関わりを強化しました。

小児救急医療センターについては、平成18年4月の開設以来多くの利用者がありますが、適正な診療体制を構築するため、トリアージシステムの研究委託により重症患者の診察を優先的に行いました。

基本施策1 妊娠・出産への支援

前期達成度 4.0

1. 妊娠期の健康保持と出産への支援
2. 配偶者や家族への啓発と情報提供

基本施策2 子どもと家族の健康生活支援

前期達成度 3.3

1. 子どもと家族の健康保持・増進への支援
2. 不慮の事故防止や感染症予防の充実

基本施策3 食育の推進

前期達成度 3.7

1. 健康な心身を育てる食育の推進

基本施策4 子ども的心と体へのケア

前期達成度 3.7

1. 思春期保健対策の充実
2. 相談・カウンセリングの充実
3. 児童虐待の防止（再）

基本施策5 小児医療体制の充実

前期達成度 4.0

1. 小児医療体制の充実



基本目標3 協働

子育ての喜びや悩みを分かち合える環境づくり **達成度 3.0**

* 達成度基準 1=0~19% 2=20~49% 3=50~79% 4=80~99% 5=100%

【概要】

基本施策1については、草津市小中学校人権学習推進委員会で作成したモデルプランの事例を教材に授業を実践し、モデルプランの修正を図りました。また、小学校から老人クラブ等へ働きかけ、授業公開や人権のつどい等で交流を図るとともに、子どもたちの発言機会として、市内7中学校等から多くの応募を得て「草津市青少年の主張発表大会」を開催しました。

子育てに関する相談や学習機会については、「すこやか訪問」（乳幼児訪問）や乳幼児健診等様々な機会に育児相談の場を設けるなど積極的に充実を図りました。また、市立幼稚園では、講演会や懇談会を実施するとともに、在園児以外の未就園児活動や子育て相談の場を設けました。

男女がともに担う子育ての推進については、子育て体験教室で父親グループの設定を行いました。サークル立ち上げには至りませんでした。

地域における子育て支援団体への支援については、後期計画策定に際して実施した子育てサークルとの意見交換会で出た様々な課題等を踏まえ、平成22年度以降新たな支援策を実施する計画を策定しました。

子育て仲間との出会いの場については、「つどいの広場」の重要性を確認し、後期計画において中学校区に1カ所（一部子育て支援センター）程度設置していく計画を策定しました。

基本施策1 子どもの人権を守る意識づくりと子育てへの理解の浸透 **前期達成度 3.1**

1. 人権学習の推進
2. さまざまな機会を活用した教育啓発の推進
3. 子どもたちが発言する機会づくり

基本施策2 子育てに関する相談や学習機会の充実 **前期達成度 3.0**

1. 子育てに関する相談の充実
2. 各種訪問事業の充実
3. 多様な学習機会の提供
4. 子育てサポーターの養成
5. 外国人家庭への支援

基本施策3 男女がともに担う子育ての推進 **前期達成度 2.5**

1. 男女がともに担う子育てへの啓発と男性の子育て支援
2. 事業所等との連携

基本施策4 地域における子育て支援のネットワークづくり **前期達成度 3.0**

1. 地域における子育て支援活動団体の支援
2. 関係機関の連携充実

基本施策5 子育て仲間との出会いの場づくり **前期達成度 3.3**

1. 子育て仲間との出会いの場の提供
2. 子育てサークルの活動支援
3. 親子が気軽に集まれる場の提供
4. 子育てしている人の社会参画支援

基本施策6 子育てに関する情報提供の充実 **前期達成度 3.3**

1. 広報、ホームページの充実
2. 若い世代への情報発信
3. 多様なメディアの活用

基本目標4 支援

すべての子育て家庭を支援するしくみづくり **達成度 3.3**

* 達成度基準 1=0~19% 2=20~49% 3=50~79% 4=80~99% 5=100%

【概要】

保育事業については、私立認可保育所の増改築により定員を60名増員しました。
また、94名の障害児受入を行うとともに、病児・病後児保育について新たに医療機関併設型で事業を開始しました。
子育て支援サービスについては、平成17年度より事業を開始した、ファミリー・サポート・センターの会員数及び活動回数が着実に増加しており、主に保育所や幼稚園等の送迎に活用されました。(会員数：687名、活動回数：延べ2,327回)
また、放課後児童育成クラブについて、必要と認める小学校4年生まで対象を拡大するとともに、専用施設の整備により定員を30名増員しました。
援助を要する家庭への支援については、新たな取組として、重度の障害児を受け入れしやすくするため、日中一時支援事業において、受入事業所に対して重度加算を行いました。
また、出産間もない家庭について、すこやか訪問により状況を把握し、育児等が困難な家庭に対しては、必要と認められる場合は積極的に育児・家事ヘルパー派遣を実施しました。
経済的な負担軽減として、必要と認められる保護者について、引き続き保育所や幼稚園の保育料軽減を図るとともに、小中学校の就学に必要な経費(学用品、給食費等)に対して就学援助費を給付(約820名)しました。

基本施策1 仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実

前期達成度 3.3

1. 通常保育サービスの充実
2. 多様な保育サービスの充実
3. 保育マンパワーの確保と養成

基本施策2 子育てする人の就労環境の充実

前期達成度 3.0

1. 子育てと仕事との両立が可能な職場環境 づくりへの働きかけ
2. 起業支援

基本施策3 すべての子育て家庭を支援するサービスの提供

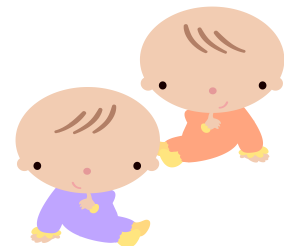
前期達成度 3.2

1. 子育て支援サービスの充実
2. 援助を必要とする家庭への支援
3. 子育ての喜びや悩みを分かち合える環境 づくり(再)

基本施策4 子育ての経済的負担の軽減

前期達成度 3.5

1. 子育ての経済的負担の軽減



基本目標5 安全

安全なまちづくり

達成度 3.1

* 達成度基準 1=0~19% 2=20~49% 3=50~79% 4=80~99% 5=100%

【概要】

通学路整備や標識の改修、路面表示の新設・改修を行うとともに、スクールガードボランティアの協力を得て見守り体制の充実に努めました。(登録ボランティア 3,366名)

また、防犯灯の新設や既存の防犯灯についての球交換(1,836灯)を実施しました。

平成22年1月より、「子ども110番の歯科医院」を開始し、子どもたちの安全確保に努めました。

交通安全推進のための交通安全教室については、前年度より10回多い38回開催し、特に幼稚園や保育所での教室については参加者の評価も高く、児童への教育効果が期待できます。

バリアフリー化の推進については、市道追分矢倉南山田線他で歩道整備を実施するとともに、草津駅周辺における道路および主要施設の「バリアフリーマップ」作成し公共施設へ設置しました。

公園整備については、ロクハ公園に新しく大型遊具「くるくるランド」を設置し、施設の充実に努めました。

基本施策1 子どもと家族が安心して暮らせるまちづくり

前期達成度 3.1

1. 子どもたちを犯罪から守る取組の推進
2. 交通安全の推進
3. 子どもたちの生活の場の安全確保
4. 安全な遊び場の確保

基本施策2 魅力ある住環境づくり

前期達成度 3.1

1. 子育てしやすい住環境の確保
2. バリアフリー化、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

